

## 完全矯正値、その臨床的意義

～基礎から最新の知見まで～

### ● 座長



**下村 嘉一 先生**  
府中病院 眼科統括部長  
近畿大学名誉教授

◆ご略歴

1977年 大阪大学医学部卒業  
1977年 大阪大学医学部附属病院眼科研修医  
1978年 大阪府立羽曳野病院眼科医員  
1981年 ジョージア医大細胞分子生物学教室講師  
1983年 大阪大学眼科助手  
1988年 大阪労災病院眼科部長  
1990年 松山赤十字病院眼科部長  
1993年 大阪大学眼科講師  
1997年 大阪大学眼科助教授  
2009年 近畿大学医学部堺病院 院長  
2012年 近畿大学大学院 医学研究科長  
2018年 近畿大学名誉教授  
2018年 生長会眼科統括部長

眼科学は、“屈折に始まり、屈折に終わる”と言われます。しかし、多くの患者さんを診療する臨床現場で、ふと立ち止まり、“屈折”について考える時間は、ご専門の先生でない限り、なかなかないのが現実ではないでしょうか。とりわけ、視機能自体を脅かす疾患の診療では、屈折そのものよりも病期の確認が重要になるのは必然です。

一方で、屈折性弱視症例における完全矯正の必要性は長く知られております。近年では、近視低矯正の眼鏡のほうが、近視完全矯正の眼鏡に比し、近視が進行する可能性が示唆されてもおります。また、眼科医の関与なく作成された近視過矯正眼鏡を装用した結果、眼精疲労や調節緊張に陥っている患者さんを診察することもあり、屈折矯正への眼科医の一層の関与が求められているのも事実です。

そのような背景のもと、学会という場をお借りして、低矯正でも、過矯正でもない、“完全矯正”について、改めて先生方と考えるセミナーをご用意いたしました。

本セミナーでは、半田知也先生に改めて完全矯正値の測り方をおさらいしていただきつつ、同じ視力でも異なる矯正状態がありうること、それが人間の視覚に与える影響についてご講演をいただきます。続いて、二宮さゆり先生に完全矯正値を正しく取ることの臨床的重要性についてご講演をいただきます。

“屈折に始まり、屈折に終わる”眼科学に携わる多くの先生方に、基礎のおさらいから新しい観点、最新の知見まで、ご提供できる構成となっています。

是非お越しください。

### ● 演者



**半田 知也 先生**  
北里大学

◆ご略歴

1998年 川崎医療福祉大学 医療技術学部  
視能矯正学専攻 卒業  
2004年 北里大学大学院 医療系研究科 眼科学 修了  
(博士医学)  
2004年 北里大学 医療衛生学部 視覚機能療法学 助手  
2005年 北里大学 医療衛生学部 視覚機能療法学 講師  
2013年 北里大学 医療衛生学部 視覚機能療法学  
准教授  
2016年 北里大学 医療衛生学部 視覚機能療法学 教授

### ● 演者



**二宮 さゆり 先生**  
伊丹中央眼科

◆ご略歴

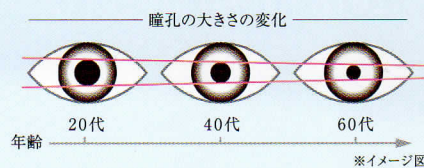
1991年 3月 大阪大学医学部 卒業  
1991年 9月 大阪急性期・総合医療センター  
麻酔科・ICU  
1994年 7月 多根記念眼科病院 眼科  
1995年 10月 住友病院 眼科  
1999年 1月 ニュージャーシー医科歯科大学 研究員  
2005年 3月 大阪大学大学院 感覚機能形成学 卒業  
2005年 6月 伊丹中央眼科 開設

# ここまで裸眼に近づいた。



## ■ 瞳孔の大きさ 年齢で変化する

年齢とともに瞳孔の大きさは小さくなっていきます。  
また、近視や遠視などの目の状態によっても瞳孔の大きさは異なります。  
自分の目の状態に合わせたコンタクトレンズ選びが大切です。



## 遠近両用レンズ選びで大切な 瞳孔の大きさ

年齢とともに小さく変化していく  
瞳孔に合わせてレンズが選べるから  
よりあなたに合うレンズが見つかります。

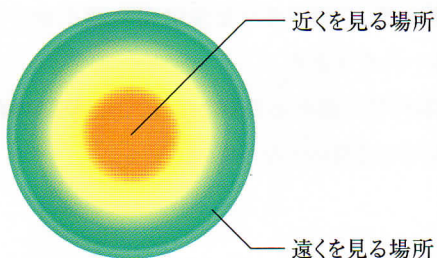
## レンズの うるおいキープ

歳を重ねるごとに、  
目にうるおいを与える涙が減少します。  
レンズに閉じ込めた「保湿成分」により  
1日中快適なつけ心地が続きます。

### 瞳孔の大きさに合わせた光学部設計

年齢や目の状態によって瞳孔の大きさはさまざま。遠近両用  
レンズは、瞳孔の大きさに合わせて遠くを見る場所と近くを見る  
場所がバランスよく配置されることが重要です。

遠近両用  
レンズの構造



※イメージ図

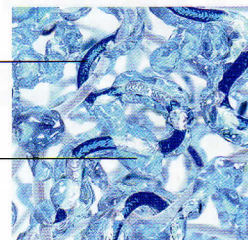
アキュビュー®は一人ひとり異なる瞳孔の大きさに着目。  
最適なレンズ選びのために171パターンの異なる  
レンズ設計を用意しています。

### 保湿成分配合

レンズの中に閉じ込めた「保湿成分PVP」が、うるおいのクッ  
ションのような、快適なつけ心地を実現します。

レンズに閉じ込めた  
保湿成分PVP

水分子



※PVP:ポリビニルピロリドン

※イメージ図

はじめよう  
目の紫外線対策

UVカット

紫外線は目の老化やさまざまなトラブルの原因に。  
毎日の装着で大切な目を紫外線から守りましょう。



近くも遠くも自然に見やすい これからもコンタクトで自分らしく



ワンデーアキュビュー®モイスト®  
マルチフォーカル

※装着感、見え方には個人差があります。 ※保湿：レンズに持続的に閉じ込められた保湿成分が、涙などの水分を保持(保水)します。 \*1 Johnson & Johnson VISION CARE, INC. データより。 UV吸収剤を配合したコンタクトレンズは、UV吸収サングラスなどの代わりにはなりません。本製品の使用と、紫外線に起因する眼障害リスク低減については、臨床試験において確認されておりません。

◎コンタクトレンズは高度管理医療機器です。必ず事前に眼科医にご相談のうえ、検査・処方を受けてお求めください。  
◎ご使用前に必ず添付文書をよく読み、取扱い方法を守り、正しく使用してください。

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケア カンパニー 東京都千代田区西神田3丁目5番2号  
販売名:ワンデーアキュビューモイスト 承認番号:216008ZY00408000

®登録商標 ©J&J KK 2018